

2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年8月7日
東

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所
コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 正伸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理部門担当 (氏名) 大谷 隆一 (TEL) 03-3518-1111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績(2024年10月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	98,807	3.0	5,532	△5.9	6,037	△17.2	4,569	△3.2
2024年9月期第3四半期	95,946	6.4	5,877	13.1	7,293	30.2	4,722	27.5

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 4,436百万円(△25.6%) 2024年9月期第3四半期 5,961百万円(34.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	158.64	157.80
2024年9月期第3四半期	164.07	163.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	77,998	50,510	64.6
2024年9月期	75,390	47,809	63.3

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 50,419百万円 2024年9月期 47,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	22.00	—	33.00	55.00
2025年9月期	—	28.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	29.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	132,000	2.1	7,100	0.4	7,500	△5.1	4,900	△5.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期3Q	29,007,708株	2024年9月期	29,007,708株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	197,535株	2024年9月期	213,035株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期3Q	28,802,632株	2024年9月期3Q	28,784,607株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの売上高は、98,807百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は5,532百万円（前年同期比5.9%減）、経常利益は6,037百万円（前年同期比17.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,569百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分及び名称を変更しています。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりです。

①ファインケミカル

ゴム関連商品は、国内向け原材料需要と一部海外グループ会社の業績伸長で売上は好調でしたが、一部輸出の不調を受け利益は減少しました。

化学品関連商品は、市況の影響を受けて主力商材の需要が弱含んでいることや、円安継続による輸入品仕入価格上昇により、売上、利益ともに減少しました。

この結果、ファインケミカルの売上高は32,280百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は1,971百万円（同5.1%減）となりました。

②インダストリアル・プロダクツ

モビリティ関連商品は、販売価格の見直しにより売上は堅調も、利益は為替変動の影響を受けて減少しました。

北米は、Sanyo Corporation of America、Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V. が売上、利益ともに好調でした。中国は、景気減速と競争激化による日系自動車メーカーの減産により、Sanyo Trading (Shanghai) Co., Ltd. の売上、利益がともに減少しました。アセアンは、販売価格見直しによりSanyo Trading Asia Co., Ltd. (タイ) の売上、利益がともに好調でした。

この結果、インダストリアル・プロダクツの売上高は27,980百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は2,288百万円（同16.6%減）となりました。

③サステナビリティ

グリーンテクノロジー関連商品は、飼料加工機器の関連消耗品販売が好調であったことや、木質バイオマス関連事業で大型案件を計上したことにより、売上、利益ともに好調でした。

コスモス商事㈱が取扱う資源開発関連商品は、海洋調査資機材関連を筆頭に海洋開発分野が業績を牽引し、石油・ガス関連機材も好調でした。

この結果、サステナビリティの売上高は8,505百万円（前年同期比44.8%増）、営業利益は1,311百万円（同91.9%増）となりました。

④ライフサイエンス

マテリアルソリューション関連商品は、電材の輸出好調が継続し、売上、利益ともに堅調でした。科学機器関連商品は、需要の弱含みや円安継続による輸入品仕入価格の上昇により、売上、利益ともに減少しました。

㈱ワイピーテックが取扱う機能性飼料原料は販売数量増により、売上が好調でした。㈱スクラムが取扱うバイオ関連機器は遺伝子解析関連機器の代理店契約終了の影響で不調でした。

この結果、ライフサイエンスの売上高は29,070百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は1,298百万円（同21.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、現金及び預金、棚卸資産及び前渡金の増加等により、前連結会計年度末比2,913百万円増加し、66,020百万円となりました。

固定資産は、本社ビルの増床工事による設備投資があった一方、差入保証金の返金による減少等があり、前連結会計年度末比305百万円減少し、11,977百万円となりました。

この結果、総資産は77,998百万円（前連結会計年度末比2,607百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、バイオマス発電事業の前受金が増加した一方、仕入債務の減少及び為替予約の評価替え等により、前連結会計年度末比30百万円減少し、25,569百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の減少等により、前連結会計年度末比63百万円減少し、1,918百万円となりました。

この結果、負債は27,487百万円（前連結会計年度末比93百万円の減少）となりました。

(純資産)

株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により増加しました。その他の包括利益累計額は、投資有価証券の売却等により、減少しました。

この結果、純資産は50,510百万円（前連結会計年度末比2,701百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期連結業績予想につきましては、2024年11月7日発表の通期予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,007,322	11,089,977
受取手形、売掛金及び契約資産	24,215,073	21,284,879
電子記録債権	2,479,000	2,957,106
商品及び製品	24,772,923	25,880,364
仕掛品	75,669	158,023
原材料及び貯蔵品	332,113	274,949
その他	3,351,962	4,497,199
貸倒引当金	△126,832	△122,260
流動資産合計	63,107,232	66,020,241
固定資産		
有形固定資産	3,160,249	3,449,485
無形固定資産		
のれん	1,401,622	1,179,899
その他	701,957	612,704
無形固定資産合計	2,103,580	1,792,604
投資その他の資産		
投資有価証券	4,877,344	4,860,297
その他	2,177,044	1,917,227
貸倒引当金	△34,930	△41,826
投資その他の資産合計	7,019,458	6,735,698
固定資産合計	12,283,287	11,977,787
資産合計	75,390,519	77,998,029

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,573,928	11,861,610
短期借入金	4,358,289	4,475,964
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	1,107,888	1,108,659
引当金	984,274	786,446
その他	6,475,404	7,236,786
流動負債合計	25,599,784	25,569,467
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
引当金	75,510	47,203
退職給付に係る負債	977,195	944,471
その他	878,697	876,468
固定負債合計	1,981,403	1,918,143
負債合計	27,581,188	27,487,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	447,262	461,807
利益剰余金	42,981,511	45,793,828
自己株式	△102,568	△95,105
株主資本合計	44,332,793	47,167,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,854,913	1,655,561
繰延ヘッジ損益	19,682	58,895
為替換算調整勘定	1,509,900	1,538,201
その他の包括利益累計額合計	3,384,497	3,252,658
新株予約権	90,995	90,420
非支配株主持分	1,044	221
純資産合計	47,809,331	50,510,418
負債純資産合計	75,390,519	77,998,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	95,946,953	98,807,096
売上原価	79,250,001	81,613,700
売上総利益	16,696,952	17,193,396
販売費及び一般管理費	10,819,220	11,660,921
営業利益	5,877,731	5,532,474
営業外収益		
受取利息	48,078	45,107
受取配当金	107,568	115,824
為替差益	1,110,954	317,222
その他	258,819	143,910
営業外収益合計	1,525,420	622,065
営業外費用		
支払利息	52,365	61,243
売上債権売却損	14,472	30,678
その他	43,209	25,467
営業外費用合計	110,047	117,389
経常利益	7,293,104	6,037,150
特別利益		
投資有価証券売却益	—	929,545
特別利益合計	—	929,545
税金等調整前四半期純利益	7,293,104	6,966,695
法人税等	2,561,840	2,398,273
四半期純利益	4,731,264	4,568,421
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8,628	△804
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,722,635	4,569,226

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	4,731,264	4,568,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	592,513	△199,329
繰延ヘッジ損益	—	39,213
為替換算調整勘定	637,456	28,301
その他の包括利益合計	1,229,969	△131,814
四半期包括利益	5,961,234	4,436,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,951,318	4,437,410
非支配株主に係る四半期包括利益	9,916	△803

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

棚卸資産の評価方法は総平均法による原価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より先入先出法によって評価しています。

この評価方法の変更は基幹システムの更改を契機に、棚卸資産の動きをより詳細に把握することが可能となり、適正な棚卸資産の評価及び期間損益計算の観点から、棚卸資産の評価方法について再度検討したことによるものです。

この結果、当社の保有する棚卸資産の動きと整合する先入先出法を採用することが合理的であり、当社の経営実態をより適切に反映すると判断しました。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(追加情報)

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」（令和7年法律第13号）が2025年3月31日に公布され、2026年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引上げ等が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の30.62%から2026年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については31.52%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微です。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	228,011千円	340,249千円
のれんの償却額	472,547千円	348,253千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	ファイン ケミカル	インダストリアル・ プロダクツ	サステナ ビリティ	ライフ サイエンス	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	31,976,999	27,917,591	5,872,356	29,034,633	94,801,582	953,959	95,755,541	191,411	95,946,953
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,250,395	1,214,904	324,261	2,574,538	7,364,100	491,450	7,855,550	△7,855,550	—
計	35,227,394	29,132,495	6,196,618	31,609,172	102,165,682	1,445,409	103,611,092	△7,664,138	95,946,953
セグメント利益 又は損失(△)	2,078,096	2,743,995	683,372	1,647,747	7,153,211	△105,217	7,047,993	△1,170,261	5,877,731

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及び不動産賃貸業等を含んでいます。
2. 調整額は、以下のとおりです。
- (1) 外部顧客への売上高の調整額191,411千円は、管理会計との為替調整額です。
- (2) セグメント利益又は損失の調整額△1,170,261千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△919,818千円、管理会計との為替調整額 △273,260千円、その他の連結調整額22,817千円が含まれています。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、2022年9月期に行いました㈱スクラムの全株式の取得に係る条件付き取得対価の追加支払が発生したことにより、「ライフサイエンス」セグメントにおいて、のれん350,260千円を計上しています。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	ファイン ケミカル	インダスト リアル・ プロダクツ	サステナ ビリティ	ライフ サイエンス	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	32,280,689	27,980,438	8,505,133	29,070,910	97,837,171	969,924	98,807,096	—	98,807,096
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,770,907	1,038,940	270,792	2,819,404	7,900,045	344,690	8,244,736	△8,244,736	—
計	36,051,597	29,019,379	8,775,925	31,890,314	105,737,217	1,314,615	107,051,832	△8,244,736	98,807,096
セグメント利益 又は損失 (△)	1,971,591	2,288,758	1,311,446	1,298,922	6,870,719	△246,903	6,623,816	△1,091,342	5,532,474

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及び不動産賃貸業等を含んでいます。
2. 調整額は、以下のとおりです。
セグメント利益又は損失の調整額△1,091,342千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△1,138,653千円、管理会計との為替調整額△49,909千円、その他の連結調整額 97,220千円が含まれています。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、2022年9月期に行いました㈱スクラムの全株式の取得に係る条件付き取得対価の追加支払が発生したことにより、「ライフサイエンス」セグメントにおいて、のれん126,530千円を計上しています。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、セグメントごとの事業内容や戦略を明確化し、経営資源を効率的に配分することで、事業運営の透明性と業績管理の精度を向上させ、資本市場への情報開示をより明確にすることを目的として、報告セグメントを変更しています。

従来の報告セグメントである「化成品」「機械資材」「海外現地法人」を再編し、新たに「ファインケミカル」「インダストリアル・プロダクツ」「サステナビリティ」「ライフサイエンス」の4つに変更しています。化成品は、製品特性や市場ニーズの違いを踏まえ、「ファインケミカル」と「ライフサイエンス」に分割しました。機械資材は、市場領域に応じて、「インダストリアル・プロダクツ」「サステナビリティ」「ライフサイエンス」に分割しました。海外現地法人は、市場対応力の向上と効率的な業績管理を図るため、「ファインケミカル」「インダストリアル・プロダクツ」「ライフサイエンス」に分割しました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分及び名称に基づき作成し、開示しています。